

未来永劫、長崎を最後の被爆地に

6月9日、平和公園で500回目の「核廃絶を訴える座り込み集会」が開催され、約420人が参加し、原爆が投下された午前11時2分に全員で黙とうし、祈りを捧げました。私も参加者の1人として、マイクを握り「長崎の被爆体験者は被爆者だ。戦争被害者である被爆者の救済なくして戦後は終わらない。唯一の戦争被爆国である日本こそが、核兵器なき世界のために果たすべき役割がある。政府は一刻も早く核兵器禁止条約に参加すべきだ」と訴えました。



蓮舫 参議院議員と国政報告会 in 大村
500人の会場が満員御礼の大盛況



辻元清美 参議院議員と街頭演説
「今の政治はもう変えなあかん！」



野田佳彦 元総理大臣と青空対話集会
「政権交代して、本気の政治改革を実現する」



立憲民主党 島政策プロジェクトチーム
事務局長として、党の島政策をまとめる



オーガニック給食を全国に実現する議員連盟
坂本農林水産大臣と大臣室で意見交換



長崎県内各地の市長や町長からのご要望
地域に必要な道路整備事業に全力で取り組む



有明海の再生について地元漁師と座談会
「答えは現場にある！」現場の声を行政へ



「おはようございます！」雨にも負けず朝カブ
朝から笑顔の交流を各地で実行中！



長崎2区の各地で「対話集会」を開催中！
あなたの声が当たり前が届く政治を

号外

2024.07.01

No.09

立憲民主

立憲民主編集部 〒101-0014
東京都千代田区永田町 1-11-1
三宅ビル7F
Tel. 03-3595-9988
Fax. 03-3595-9088

からちゃん News

衆議院議員 山田勝彦



国会や地元長崎での日頃の活動をお伝えします。
政治をもっと身近に。そんな想いで発行しています。

1979年7月生まれ／大村高校卒業／法政大学卒業／2003年～会社員
2009年～国会議員秘書／2013年～株式会社やまびこ学苑 設立(障がい福祉・農業)
大村市で妻と息子の3人暮らし 趣味：野球 好きな時間：息子とキャッチボール

お金の力でなく国民の声で動く政治へ もう変えんば！長崎3区補選に勝利！

長崎県民の皆さまと一緒に、裏金金権政治を終わらせ、新しい政治
新しい未来をつくる！と訴え続けました。結果は、5万3381票を頂戴し、
国会へ復帰することができました。裏金問題のケジメをつけるため、「真
の政治改革」に全力で取り組みます。

2期目も現場主義を貫き、「離島振興」「農政改革」「本気の少子化対策」「暮らしを守る物価高対策」など
選挙戦で訴えた政策の実現に取り組みます。



裏金国会が閉幕 抜け穴だらけの政治資金規正法が成立、 真の政治改革はこれから

裏金国会の最大のミッションは、もう二度と裏金づくりをさせない法改正でした。
しかし、自民党と公明党が強行した改正政治資金規正法は抜け穴だらけのザル法です。
10年後の領収書公開に一体なんの意味があるのでしょうか？この国会でハッキリ
したことは、真の政治改革を進めるには「政権交代」しかないということです。こ
れから新長崎2区の各地を歩き、お一人お一人の声を大切に活動します。



YouTube
山田カッチャンネル

国会質疑を
ご覧になれます。



衆議院本会議代表質問
2024.1.31
岸田総理！
国民の声を...
聞け！ 山田勝彦

外国人労働者を苦しめる
悪質ブローカーを排除！
2024.5.14 衆議院 法務委員会

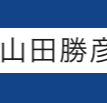
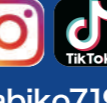
2024年6月5日 衆議院 農林水産委員会
クロマグロの資源管理
漁獲枠を増枠すべきだ！
沿岸漁業者の
生業を守る！

SNS
情報

お友だち登録をお願いします。
ご意見・ご質問もお受けします。



公式LINE



山田勝彦 検索

立憲民主党長崎県第2区総支部
山田勝彦事務所

〒856-0805 長崎県大村市竹松本町 859-1

TEL: 0957-46-3788 FAX: 0957-46-3789

国会事務所: 〒100-8982 東京都千代田区永田町2-1-2 衆議院第二議員会館401号室 TEL 03 (3508) 7420

info@cdp-nagasaki.jp

www.yamada-katsuhiko.com

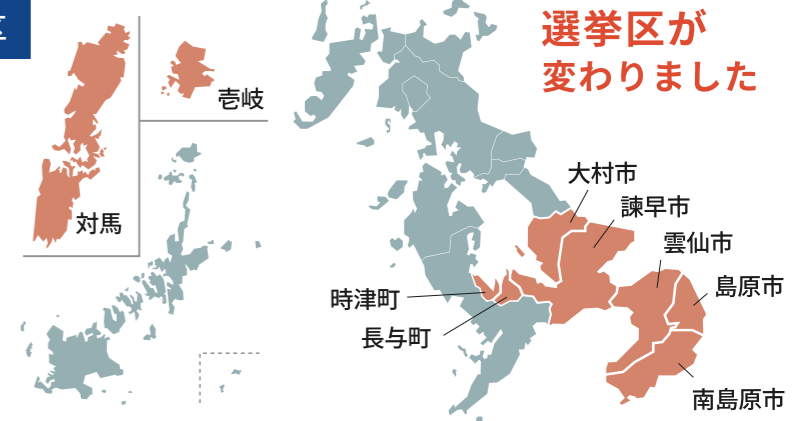


第208回国会
三ツ星議員に
表彰されました

「議員の発言・質
問回数」、「議員立
法の回数」、「質問主意書の提出件
数」を集計し、高スコア議員として、
713名の国会議員から14名が
「三ツ星議員」に選ばれました。

新長崎2区

- ・対馬市
- ・壱岐市
- ・大村市
- ・諫早市
- ・時津町
- ・長与町
- ・雲仙市
- ・島原市
- ・南島原市



選挙区が
変わりました

「離島航路」は海の国道！ 「国境離島みんなが JR 運賃並み法案」を提出

「離島航路の低料金化を島民以外も対象へ」政治を志した6年前から言い続けた山田勝彦の政策が、立憲民主党の法案となり衆議院へ提出されました。島を守ることは国を守ること。国境の島で人が住み続けてもらう事で日本の領土が守られ、島の漁師さん達が漁業を続けてもらう事で領海が守られています。しかし、島は本土と比べ物価が10%以上高い上に、農業や漁業の後継者がおらず、人口減少と過疎高齢化が急激に進んでいます。島のための新しい経済政策が必要です。

島民の皆様にとって、離島航路は「海の国道」です。離島航路の低料金化は、観光客も含め島民以外も対象にすべきです。島により人が集まるようになり、島内消費が伸びれば、誰かの消費は誰かの所得、島民所得が上がります。島を訪れる人も含めみんなが笑顔になれる法案の成立に向け、全力を尽くします。



自衛隊員を応援する議員連盟の役員に選出！ 自衛隊員の高い士気と能力が発揮される環境を

5月23日「立憲民主党自衛隊員応援議員連盟」（会長枝野幸男）が開催され、事務局次長に就任しました。そして、「自衛隊員の処遇改善」をテーマに国会議員と防衛省の幹部職員で意見交換し、私からも隊員の皆さまの現場の声を届けました。

「航海中の海上自衛隊の船が停泊中に港から食糧などを積む作業がある。積み込む量は、数百人の数週間分なので相当な量である。しかし、全て乗組員が手積みリレーで作業している。米軍等は荷物が着いた港から船までベルトコンベアで運ばれており、労働力が省力化されている。海上自衛隊にもベルトコンベアを導入すべきでないか？隊員は昔から声を上げ続けているが、一向に改善されていない。あなた達幹部職員へこの声は届いているのか？検討されたことはあるのか？」

政府の回答：今、初めて聞いた。よく内容を確認して検討したい。

時間が足りずに叶わなかったですが、まだまだ届けたい現場の声はたくさんあります。これからも「答えは現場にある！」自衛隊員の皆さまを本気で応援する政治活動を続けます。



「農家に罰金」は許されない！ 食糧危機に備え、平時から食料自給向上を

岸田政権はとんでもない法律をつくりました。緊急事態時に食糧不足が生じた場合、どの程度の食料確保が可能かを把握するため、農家から計画を政府へ提出させるといった義務を課し、計画の提出を怠った場合は刑罰を科すとしたのです。農家に罰金を課すことを可能とする極めて異例の法律に対し、地元長崎県だけでなく全国の生産者や国民の皆さまから怒りの声を多数聴いています。食料安全保障が重要だと政府は言いながら、物価高で深刻な経営危機にある酪農家や畜産農家を救わなかった為、残念ながら廃業者や自殺者が増えています。そんな農水省が、いざ食料危機が来ると罰金という圧力で農家を従わせようとする。ただでさえ厳しい経営のなか、農家を犯罪者にするような法律は絶対に許されません。すぐに撤回すべきです。「罰金」ではなく、なぜ「協力金」ではダメなのでしょう？

そして、食糧危機へ備えるのであれば、先進国中最低の食料自給率38%を高めることが重要です。農家の皆さんは私たち国民が生きるために必要な食料を生産いただく「青空公務員」です。国からの直接支払いによる農家の所得補償を実現しなければなりません。



全国の直売所から「手づくり漬物」が消えた問題 みんなが知らない解決策があった！

YouTube 実際の動画は
山田カッチャンネルで

6月から始まった国の厳しい衛生基準では、漬物をつくり続けるために高額な設備費用がかかるため、個人の高齢農家さん達の多くが廃業しています。そんな中、厚労省は地方自治体へ通知を出し、地域独自の衛生基準を条例で定め、各地の漬物づくりが継続されるよう国より柔軟なルールをつくるよう促していたことがわかりました。

さらに、すばらしい取り組みがあります。高知県や鳥取県、全国各地の複数の市町村がすでに自治体独自の補助金事業で地域の漬物づくりを支援しています。諫早での対話集会で高齢の農家さんから「自分の漬物を楽しみにしてくれる人がいる。お年寄りの生きがいを奪わないで欲しい」という声を直接聴きました。

漬物づくりをあきらめないで欲しい。事務所スタッフと一緒に県内各地の直売所をまわり、情報を届け、勉強会も行っています。長崎県、そして全国各地で漬物文化を守る条例がつけられることを願います。



食品表示「小麦粉（国内製造）」は国産小麦でない！ 事業者の声より消費者の声を聞くべきだ！

YouTube 実際の動画は
山田カッチャンネルで

日本の食品表示は問題だらけです。国産の原料かどうか誤解を与え、遺伝子組み換えやゲノム編集の表示義務を求める消費者の声にも応えていません。これまでも、消費者及び食品安全担当の自見大臣へ消費者の選択する権利を守るため、製造地ではなく生産地を表示するよう求めて来ましたが、一向に改善する気のない消費者庁。そして、その理由が製粉協会などの事業者が主張する言い訳を繰り返すばかりです。

そこで、ある母親の声を大臣に紹介しました。「国産小麦を選びたい。家族の食卓をあずかる者として、食べ物を選べないのは困る」と。輸入小麦に検出されているグリホサートは、世界中で最も使われている除草剤の主成分で、2015年に、WHO（世界保健機関）の専門家機関がグリホサートを「発がんのおそれあり」と評価し、世界では規制強化が進んでいます。輸入小麦に依存する日本では、学校給食にもグリホサートが検出されています。引き続き、消費者の声を届け、見直しを強く迫ります。



大村市が住民票で同性パートナーを「夫」とする 画期的な取り組み！同性婚の法改正を

YouTube 実際の動画は
山田カッチャンネルで

同性婚が認められていない日本において全国的にも画期的な取り組みであり、当事者のお二人は「自分たちに寄り添ってくれた大村市の英断に心より感謝している」と喜びの声を私も直接聞き、大村市民として大村市の対応を誇らしく思います。

しかし、厚労省所管の雇用保険法に基づく移転費の申請をカップル2人分の申請をしたところ、異性の事実婚には支給するが、同性の事実婚には支給しないと回答がありました。これは「平等権」に反する明確な差別です。2人分の移転費を支払うべきだと訴えたところ、厚労省からは「検討します」と回答がありました。そして、そもそも日本でも「同性婚」を法的に認めるべきです。立憲民主党は、同性同士でも婚姻が成立する「婚姻平等法案」を国会に提出しています。小泉法務大臣へ「パートナーとして選んだ人の性別によって結婚ができないのは明らかに差別ではないか？司法の判決を見守るとかではなく、政治家として政治決断すべきではないか？」と迫りました。大臣からは「積極的に身を乗り出して、注視する」と答弁がありました。

